

建築改修工事仕様書

I 工事概要

1 工事場所

島根県雲南市大東町飯田地内

2 地域地区

( 都市計画区域内 第一種住居地域 法22条地域 )

3 敷地面積

27,178.183 m<sup>2</sup>

4 建物用途

病院

5 棟別概要

N o .	建 物 名 称	建築種別	構 造	階数	消防法 の区分	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)
1	病院	既存	S, RC, SRC	地上5階	6項イ	6,669,210	24,447,740
2	その他 17棟						
3							
4							
5							
6							
7							
合 計						8,099,620	25,771,850

II 工事仕様

1 共通事項

(1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版〔令和4年3月改定〕」（以下「改修標準仕様書」という）による。ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版〔令和4年3月改定〕」（以下「標準仕様書」という）による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2 特記事項

(1) 章及び項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は ○ 印を適用する。  
○ 印の無い場合は、 \* 印のあるものを適用する。  
○ 印と ⊙ 印のある場合はともに適用する。

(3) 特記事項に記載の[ ]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目・図または表を示す。特記事項に記載の( )表示番号は、標準仕様書の当該項目・図または表を示す。

章 項 目

① 一般共通事項

① 適用基準等

\* 建築工事標準詳細図（令和4年版）  
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修  
・公共住宅標準詳細設計図集（第4版）  
公共住宅事業者等連絡協議会監修  
\* 営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による  
工事写真撮影ガイドブック  
建築工事編及び解体工事編 平成30年版  
一般社団法人公共建築協会 編集

② 材料の品質等

本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、J I S 及び J A S マーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1）～6）の事項を満たすものとする。  
ただし、使用量の少ないもの、簡易な材料又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1）～6）を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。  
  
1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。  
2）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。  
3）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。  
4）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。  
5）安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。  
6）材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。  
  
なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。  
また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。  
ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（最新版）」及び「同設備機材等評価名簿（最新版）」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。

章 項 目

③ 環境への配慮

4. 特別な材料の工法及び製品

⑤電気保安技術者  
[1.3.3]

⑥施工条件  
[1.3.5]

⑦発生材の処理等  
[1.3.12]

⑧交通安全管理  
[1.3.9]

9. 施工数量調査  
[1.5.2]

10. 調査のための破壊部分の補修方法  
[1.6.3]

特 記 事 項

本工事中において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月8日変更閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準を満たすものとする。  
  
改修標準仕様書及び標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて、当該製品指定工法によることができる。  
・しまね・ハツ・建設ブランドに登録された下記工法又は製品を使用する。

登 録 技 術	適 用 箇 所

  
\* 配置する  
資格等は監指表 1. 3. 2 及び監指表 1. 3. 3 による  
  
詳細は現場説明書による  
  
・引き渡しを要するもの  
( )  
  
・現場において再利用を図るもの  
( )  
  
産業廃棄物の処理及び再資源化を図るものは下記による

項 目	品 目	搬 出 場 所	距離 (K.m)	D I D 区間 (有・無)	処分費 (有・無)	備 考 (再資源化の有無等)
特定建設資材	○コンクリート塊 ・アスファルト塊	出雲市稗原町	16.3		有	有
	・コンクリート及び鉄から成る建設資材					有
	○木材	雲南市加茂町	6.6	無	有	有
特別管理産業廃棄物	・石綿含有吹付け材					
	・石綿含有保温材					
	・石綿含有成形板					
	・PCB含有建材					
その他	○炭石膏ボード	出雲市宇那手町	21.0	無	有	無
	○金属くず	出雲市宇那手町	21.0	無	有	無
	○ガラス陶磁器くず	出雲市宇那手町	21.0	無	有	無
	○废プラ	出雲市斐川町	13.9	無	有	無
	○繊維くず	出雲市宇那手町	21.0	無	有	無
	○保温材くず	出雲市宇那手町	21.0	無	有	無

  
以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。  
配置する位置は別に図示する。

名 称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等
交通誘導員A		
交通誘導員B	4	資機材搬入・搬出及び荷揚作業等
交通整理員		

  
(注) 交通誘導員A、Bは警備法に定める警備員とし、交通整理員については資格を問わない。  
取扱いは「建築工事における交通誘導員等の取扱い基準」（営繕課HP掲載）による  
  
1）本工事の施工に先立ち、施工数量調査を行う。  
2）施工数量調査後、監督職員に報告書を提出する。  
3）調査結果を考慮し、施工計画を作成する。  
  
調査範囲 ・ ・ ・ ・ ・ 外壁（庇共）  
調査方法 ・ ・ ・ ・ ・ テストハンマーによる打診  
報告書の提出部数 \* 1部  
  
・

章 項 目

⑪技能士の適用  
[1.7.2]

⑫化学物質の濃度測定  
[1.7.9]

⑬工事写真

⑭完成図

⑮保全に関する資料  
[1.9.3]

16 情報共有システム

17. 関連他工事

18. 特定元方事業者の指名

⑲施工図及び施工計画書  
[1.2.2、3]

⑳事前調査等

特 記 事 項

\* 技能士制度の趣旨を十分理解の上、積極的な活用に努めること。  
  
下記により測定し、その結果を監督職員に報告する。  
測定化学物質名：  
○ホルムアルデヒド ○トルエン ○キシレン  
○エチルベンゼン ○スチレン ○パラジクロロベンゼン  
測定時期：  
・施工前 ○施工後  
測定方法：  
○営繕工事におけるホルムアルデヒド等測定要領  
・学校施設の工事における環境衛生検査の濃度測定要領  
・住宅性能表示制度に基づく測定方法  
(ただし書きによる測定方法を含む)  
測定箇所： 2 箇所  
測定対象室： スタッフ室、HCU室  
  
下記のものを提出する。  
仕様は、島根県建築工事写真取扱要領による。

区 分	分 類	サイズ (mm)	提出部数
工 事 中 写 真 (着工前含)	* カラー	* 80×120 程度	1 部
	完成写真	外部全景 * 120×170 程度 その他 * 80×120 程度	1 部
電子データ (CD-R等)	デジタルカメラを使用した場合は、工事中写真及び完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。		1 部

  
(注) フィルムカメラを使用する場合は監督職員と協議する。  
  
下記のものを、竣工後15日以内に提出する。  
仕様は、島根県建築工事完成図取扱要領による。

品 名 ・ 仕 様	提出部数
* 竣工図 製本サイズ（ * A3縮小版）白焼 表装（ * レザック表紙（ラミネート仕上げ））	2 部
* 電子データ（PDFデータ、CADデータ、施工図）（CD-R等）	1 部

  
製本の取りまとめについては監督職員の指示による。  
設計に関するCADデータを貸与するが、著作権者は、 雲南市 にある。なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。  
  

書 類 名	提出部数
建築物等の利用に関する説明書 (建築物等の利用に関する説明書作成要領による)	* 1部
機器取扱い説明書	・ 部
機器性能試験成績書	
官公署等届出書類	
その他監督職員が指示するもの	
建築物等の利用に関する説明書の電子データ（CD-R等）	* 1部

  
「島根県営繕工事等情報共有システム実施要領」に基づき、情報共有システムを利用した場合は、情報共有システムで処理を行った書式一式を、工事完成時に電子媒体（CD-R等）で納品することを基本として受発注者間協議により決定する。  
  
・  
・  
・  
  
下記の者に、労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名を行う。  
・本工事の受注者  
・関連他工事の受注者（ ）  
  
提出した施工図及び施工計画書の著作権に関わる当該建物における使用権は発注者に委譲するものとする。  
  
受注者は以下の規定に基づき、特定建築材料等の有無を事前に調査し、発注者へ書面により説明すること。併せて調査結果の揭示及び所管労働基準監督署長並びに都道府県知事等への報告を行うこと。  
(大気汚染防止法第18条の15、石棉障害予防規則第3条及び第4条の2)  
  
・分析調査（定性分析）を行い、結果を報告する。  
・試料採取箇所（ ） 試料数（ ）  
・図示による

章 項 目

⑰撤去部分

⑱耐震措置

⑲耐荷重及び耐外力

24. 施工計画調査

② 仮設工事

① 騒音・粉じん等の対策  
[2.1.3]

② 足 場 等  
[2.2.1]

③ 既存部分の養生  
[2.3.1]

特 記 事 項

○ 図示による ・  
  
耐震安全性については、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）令和3年版」による。  
  
基準に基づき定められた区分等  
構造体 ○Ⅰ類 ・Ⅱ類 ・Ⅲ類  
建築非構造部材 ○A類 ・B類  
建築設備 ○甲類 ・乙類  
  
特定室（ ）  
機能の停止が許されない室（ ）  
※記載のない室は一般室とする。  
  
建築基準法に基づき定められた区分等  
基準風速 V0 (m/s)  
○30  
・32（旧益田市、旧匹見町、旧日原町、隠岐郡）  
・34（旧津和野町、旧柿木村、旧六日市町）  
地表面粗土区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ  
積雪荷重 告示第1455号、島根県建築基準法施行細則による。  
  
分析調査  
・PCBを含む可能性のある機器類  
現場にてサンプルを採取し、含有の有無を分析する。  
採取場所（ ）  
採取機器（ ）  
採取箇所数（ ）  
  
・廃油の種別  
現場にてサンプルを採取し、分析を行う。  
採取場所（ ）  
採取箇所数 部材が異なる毎に1箇所  
  
・廃酸又は廃アルカリの種別  
現場にてサンプルを採取し、分析を行う。  
採取場所（ ）  
採取箇所数 部材が異なる毎に1箇所  
  
・ダイオキシン類  
現場にてサンプルを採取し、分析を行う。  
採取場所（ ）  
採取箇所数（ ）  
  
・塗膜塗料に含まれる有害物質  
現場にてサンプルを採取し、分析を行う。  
有害物質の種類 ・PCB ・鉛 ・クロム  
採取場所（ ）  
採取箇所数（ ）  
  
騒音・粉じん等の対策  
・防音パネル ・防音シート ○養生シート  
防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲  
\* 工事に必要な範囲 ・  
  
「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」による。  
  
外部足場  
・範囲（ ）  
・図示による ○ 設置しない  
外部足場の種類（ ・ 図示による ）  
  
内部足場  
・範囲（ ）  
○ 図示による ・ 設置しない  
内部足場の種類（ ○ 脚立、足場板等 ○ 枠組足場 ○ 移動式足場 ・ 図示による ）  
  
材料、撤去材等の運搬方法（表2.2.1）  
・A種 ・B種 ○C種 ・D種 ・E種  
  
既存部分の養生方法  
・ビニルシート ○合板 ・図示による  
既存家具等の養生方法  
○ビニルシート等による ・図示による  
既存ブラインド、カーテン等の養生  
養生方法 ○取り外し ・図示による  
保管場所： 病院内指定場所  
備品等の移動 ・図示による

NAK

有限会社 ナック建築事務所

島根県知事登録第 (8) 1817号

設計者

一級建築士		一級建築士																		
第304913号		第395260号																		
東本 貴弘		加藤 朱莉																		

法適合確認欄

設備設計一級建築士																				

工事名称

病院事業 雲南市立病院ハイケアユニット施設整備工事

設計年月

2025. 11

図面名称

特記仕様書(1)


縮尺

A1 :－  
A3 :－

図面番号


A － 01

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																										
④	仮設間仕切り [2.3.2]	種別 ① A種 ・ B種 ・ C種 (表2.3.1) A種、B種の表面板 ① 石膏ボード (t=9.5mm) ・ 合板 (t=9mm) A種、B種の片面塗装等 ・ 行う (仕様) ① 行わない 仮設扉の種別 ・ ① 木製 (合板張り程度)	⑤ 建具改修工事	① 改修工法 [5.1.3]	<table><tr><th>建具の種類</th><th>かぶせ工法</th><th>撤去工法</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・ アルミ製建具</td><td>-</td><td>-</td><td>* 図示による・</td></tr><tr><td>・ 樹脂製建具</td><td>-</td><td>-</td><td>* 図示による・</td></tr><tr><td>・ 鋼製建具</td><td>・ 外部</td><td>-</td><td>* 図示による・</td></tr><tr><td></td><td>・ 内部</td><td>-</td><td>* 図示による・</td></tr><tr><td>① 鋼製軽量建具</td><td>-</td><td>①</td><td>* 図示による・</td></tr><tr><td>・ ステン製建具</td><td>-</td><td>-</td><td>* 図示による・</td></tr></table> 新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 * 図示による・ 新規建具周囲の補修工法及び範囲 * 図示による・	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	・ アルミ製建具	-	-	* 図示による・	・ 樹脂製建具	-	-	* 図示による・	・ 鋼製建具	・ 外部	-	* 図示による・		・ 内部	-	* 図示による・	① 鋼製軽量建具	-	①	* 図示による・	・ ステン製建具	-	-	* 図示による・	8 鋼製建具 [5.2.2] [5.4.2~4] [表5.4.2]	性能値等 (・ 図示による・) 簡易気密型ドアセット 気密性の等級 (・ A-3 水密性の等級 (・ W-1 外部に面する面する建具の耐風圧性 (・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ( ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステン鋼板の材料 * SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステン鋼板を用いる場合 * HL以上 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ * 改修標準仕様書表5.4.2による・ 使用箇所 ( ) 標準型鋼製建具の形状及び寸法 * 図示による	⑭ 自閉式上吊り引戸 装置 [5.10.3]	引き戸用検出装置 性能 * 改修標準仕様書表5.9.3による 種類 ・ 光線(反射)センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ カチスイチ ・ 押し釦スイッチ カチスイチの種類 ・ 無線式カチスイチ ・ 光線式カチスイチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 * 大形(開・閉)押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ 戸の開閉方式 * 図示による・ 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない 凍結防止措置 ・ 適用する ・ 適用しない
	建具の種類	かぶせ工法		撤去工法	適用箇所																																
	・ アルミ製建具	-		-	* 図示による・																																
	・ 樹脂製建具	-		-	* 図示による・																																
	・ 鋼製建具	・ 外部		-	* 図示による・																																
	・ 内部	-	* 図示による・																																		
① 鋼製軽量建具	-	①	* 図示による・																																		
・ ステン製建具	-	-	* 図示による・																																		
5 監督員事務所 [2.4.1]	設置する  面積： m <sup>2</sup> 程度 仕上げ： 備品： 設備：	2 防火戸 [5.1.4]	・ 適用する 指定箇所 (・ 図示による・) 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 * 連動させる 適用箇所 (・ 図示による・) ・ 連動させない	⑨ 鋼製軽量建具 [5.2.2] [5.5.2~4]	性能値等 (① 図示による・) 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ( )  鋼板の材料 * 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ ガー鋼板 ・ ステン鋼板 ステン鋼板の材料 * SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ * 改修標準仕様書表5.5.1による・ 使用箇所 ( ) 召合せ、縦小口包み板の材質 * 鋼板 標準型鋼製軽量建具の形状及び寸法 * 図示による	15 重量シャッター [5.11.2、3]	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ( )Pa 開閉方式の種類 * 電動式 (手動併用) ・ 手動式 安全装置 急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 * 図示による・ 障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 * 図示による・ 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所 * 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号)に定める基準に適合するもの ・ 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 * JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき及び鋼帯) めっきの付着量 * Z12又はF12を満足するもの ガイドレール、まぐさ、両係に用いる座板及び座板のカー、雨掛りに用いるスイッチ類のふたの材質 ステン鋼板の材料 * SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1																														
⑥ 現場事務所	設置できる (① 敷地内 ・ 敷地外 (設置可能場所： ) )	3 見本の製作等 [5.1.5]	建具見本の製作 ・ 行う ・ 行わない 特殊な建具の仮組 ・ 行う ・ 行わない	10 ステン製建具 [5.2.2] [5.4.2] [5.6.2~5] [5.7.2、3]	性能値等 (・ 図示による・) 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 外部に面する面する建具の耐風圧性 (・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ( )  ステン鋼板の材料 * SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 形状及び仕上げ 表面仕上げ * HL ・ 鏡面仕上げ 工法 ステン鋼板の曲げ加工 * 普通曲げ ・ 角出し曲げ (・ a角 ・ b角 ・ c角)	16 軽量シャッター [5.12.2~4]	開閉方式の種類 * 手動式 ・ 電動式 (手動併用) 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> 安全装置 障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 * 図示による・ スラットの材質の種類 * JISG3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼板) めっきの付着量 (* Z06又はF06を満足するもの・ ・ JISG3322 (塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼板) めっきの付着量 (* AZ90を満足するもの・ スラットの種類 * インターロッキング 形 ・ オーバーラッピング 形 シャッターケース * 設ける ・ 設けない ガイドレール (中柱共)の材質 * ステン鋼板 (SUS304) 厚さ1.0mm ・ 座板の材質 (屋外の場合) * ステン製既製品																														
⑦ 工事用電力、水、その他	構内既存の施設 工事用水 ① 利用できる (有償) ・ 利用できない 工事用電力 ① 利用できる (有償) ・ 利用できない	4 防犯建物部品 [5.1.7]	・ 適用する 適用箇所 (・ 図示による・)		11 建具用金物		金物の種類及び見え掛り部の材質等 * 改修標準仕様書表5.8.1により適用は図示による・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ * 改修標準仕様書表5.8.2による・ 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ * 改修標準仕様書表5.8.3による・ 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ * 標準仕様書表5.8.4による 木製建具に使用する戸車及びレール * 標準仕様書表5.8.5による 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 * 図示による・	17 オーバーヘッドドア [5.13.2、3]	<table><tr><th>セクション材料 による区分</th><th>風圧力による 強さの区分</th><th>開閉方式 による区分</th><th>収納方式 による区分</th><th>ガイドレール の材料</th></tr><tr><td>* スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ</td><td>・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50</td><td>* バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式</td><td>* スタンダード形 ・ ロケット系 ・ バリケード形 ・ バリケード形</td><td>* 溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ ステン鋼板</td></tr></table> 電動式タイプで障害物感知装置を設ける箇所 * 図示による・	セクション材料 による区分	風圧力による 強さの区分	開閉方式 による区分	収納方式 による区分	ガイドレール の材料	* スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50	* バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	* スタンダード形 ・ ロケット系 ・ バリケード形 ・ バリケード形	* 溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ ステン鋼板																		
セクション材料 による区分	風圧力による 強さの区分	開閉方式 による区分	収納方式 による区分		ガイドレール の材料																																
* スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50	* バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	* スタンダード形 ・ ロケット系 ・ バリケード形 ・ バリケード形	* 溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ ステン鋼板																																	
⑧ 仮囲い及び出入口	設置箇所、材質、構造及び設置期間は図示による。	5 アルミニウム製建具 [5.2.2~5] [表5.2.2]	性能値等 ・ 耐風圧性の等級 ( )、気密性の等級 ( )、水密性の等級 ( ) * 改修標準仕様書表5.2.1による種別 外部に面する建具の種別 ・ A種 (・ すべて・ 図示による・) ・ B種 (・ すべて・ 図示による・) ・ C種 (・ すべて・ 図示による・) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (・ 図示による・)	12 鍵 [5.8.4]	マスターキー * 製作する (組) ・ 製作しない ・ 既存に組込む 鍵の製作本数 * 各室3本1組 (室名札付き) ・ 鍵箱 ・ 設ける (個用組) ・ 設けない	13 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]	引き戸用駆動装置 性能 ・ * 改修標準仕様書表5.9.1による 種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能 * 改修標準仕様書表5.9.2による 引き戸用検出装置の種類及び必要性項目 ・																														
9 養生シート	設置範囲 ・ 図示の位置 ・ 外部足場全面  養生シートの種別 ・ 養生シート ・ 防災Ⅰ類 ・ 防災Ⅱ類 ・ ネット状養生シート ・ 防災Ⅰ類 ・ 防災Ⅱ類 ・	6 網戸等 [5.2.3][5.3.3]	<table><tr><th>種類</th><th>材質</th><th>線径</th><th>網目</th></tr><tr><td>・ 防虫網</td><td>* 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製</td><td>* 0.25mm以上 ・</td><td>* 16~18メッシュ ・</td></tr><tr><td>・ 防鳥網</td><td>ステンレス (SUS304) 線材</td><td>1.5mm</td><td>網目寸法15mm</td></tr></table>	種類	材質		線径	網目	・ 防虫網	* 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	* 0.25mm以上 ・	* 16~18メッシュ ・	・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm	13 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]	性能値等 ・ 耐風圧性の等級 ( )、気密性の等級 ( )、水密性の等級 ( ) * 改修標準仕様書表5.2.1による種別 外部に面する建具の種別 ・ A種 (・ すべて・ 図示による・) ・ B種 (・ すべて・ 図示による・) ・ C種 (・ すべて・ 図示による・) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (・ 図示による・)	引き戸用駆動装置 性能 ・ * 改修標準仕様書表5.9.1による 種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能 * 改修標準仕様書表5.9.2による 引き戸用検出装置の種類及び必要性項目 ・																		
種類	材質	線径	網目																																		
・ 防虫網	* 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	* 0.25mm以上 ・	* 16~18メッシュ ・																																		
・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm																																		
10 洗車場	設置箇所、材質、構造及び設置期間は図示による。	7 樹脂製建具 [5.2.2] [5.3.2~5]	性能値等 ・ 耐風圧性の等級 ( )、気密性の等級 ( )、水密性の等級 ( ) * 改修標準仕様書表5.2.1による種別 外部に面する建具の種別 ・ A種 (・ すべて・ 図示による・) ・ B種 (・ すべて・ 図示による・) ・ C種 (・ すべて・ 図示による・) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (・ 図示による・)	13 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]	引き戸用駆動装置 性能 ・ * 改修標準仕様書表5.9.1による 種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能 * 改修標準仕様書表5.9.2による 引き戸用検出装置の種類及び必要性項目 ・																																
11 木製安全施設製品 (県産木材製品)	* 工事用看板 (表示板1,400mm×500mm用) 2台 * 工事用バリアード 5台 ・ 工事用標示板 (表示板1,400mm×1,100mm用) 台 (注) 取り扱いいは平成25年3月8日付第945号による	7 樹脂製建具 [5.2.2] [5.3.2~5]	性能値等 ・ 耐風圧性の等級 ( )、気密性の等級 ( )、水密性の等級 ( ) * 改修標準仕様書表5.2.1による種別 外部に面する建具の種別 ・ A種 (・ すべて・ 図示による・) ・ B種 (・ すべて・ 図示による・) ・ C種 (・ すべて・ 図示による・) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (・ 図示による・)	13 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]	引き戸用駆動装置 性能 ・ * 改修標準仕様書表5.9.1による 種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能 * 改修標準仕様書表5.9.2による 引き戸用検出装置の種類及び必要性項目 ・																																
3 防水改修工事	1 降雨等に対する養生方法 [3.1.3]		* 改修標準仕様書3.1.3(5)(7)~(9)による。 ・		13 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]	引き戸用駆動装置 性能 ・ * 改修標準仕様書表5.9.1による 種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能 * 改修標準仕様書表5.9.2による 引き戸用検出装置の種類及び必要性項目 ・																															
	2 既存防水の処理 [3.1.4] [3.2.3、4、6]		既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲 * 図示による・) ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う (範囲 * 図示による・) ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・ 行う (・ M4AS ・ M4AS1 ・ M4C M4D1 ・ L4X) ・ 行わない		13 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]	引き戸用駆動装置 性能 ・ * 改修標準仕様書表5.9.1による 種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能 * 改修標準仕様書表5.9.2による 引き戸用検出装置の種類及び必要性項目 ・																															
	3 ルーフドレン回りの処理 [3.2.5]		改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない 材質 ( )		13 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]	引き戸用駆動装置 性能 ・ * 改修標準仕様書表5.9.1による 種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能 * 改修標準仕様書表5.9.2による 引き戸用検出装置の種類及び必要性項目 ・																															
	4 既存下地の処置 [3.2.6]		既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 * 図示による・ POS工法及びPOS1工法 (機械的固定工法)の既存保護層を撤去し 防水層を非撤去とした立上り部等の処置 * 改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(g)①~③による・ 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり や丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部の納まり部の処理 * 図示による。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する ・		13 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]	引き戸用駆動装置 性能 ・ * 改修標準仕様書表5.9.1による 種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能 * 改修標準仕様書表5.9.2による 引き戸用検出装置の種類及び必要性項目 ・																															
					13 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]	引き戸用駆動装置 性能 ・ * 改修標準仕様書表5.9.1による 種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能 * 改修標準仕様書表5.9.2による 引き戸用検出装置の種類及び必要性項目 ・																															

 有限会社 ナック建築事務所 島根県知事登録第 (8) 1817号	一級建築士 第304913号 東本 貴弘	一級建築士 第395260号 加藤 朱莉	設計者	法適合確認欄 設備設計一級建築士	工事名称 病院事業 雲南市立病院ハイケアユニット施設整備工事	設計年月 2025. 11	図面名称 特記仕様書 (2)	縮尺 A1 :ー A3 :ー	図面番号 Aー 02
---	----------------------------	----------------------------	-----	---------------------	-----------------------------------	------------------	-------------------	----------------------	---------------



[illegible]

 <b>NAK</b> 有限会社 ナック建築事務所 島根県知事登録第 (8) 1817号	設計者								法適合確認欄	工事名称	設計年月	図面名称	縮尺	図面番号
	一級建築士		一級建築士						設備設計一級建築士	病院事業 雲南市立病院ハイケアユニット施設整備工事	2025. 11	特記仕様書 (3)	A1 : ー A3 : ー	A - 03
	第304913号		第395260号											
	東本 貴弘		加藤 朱莉											

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
	9 防腐・防蟻処理 [6.5.5]	・ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 ・ K2 * K3 ・ K4 ・ K2 * K3 ・ K4 ・ K2 * K3 ・ K4 ・ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 * 薬剤の製造所 の仕様による ・ JIS K 1571に適合 又は同等品 ・ 薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理 適用部位 ( ) ・ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 ( )		17 ビニル床タイル [6.8.2]	種類の記号 色柄 寸法 特殊機能 厚さ (mm) 備考 * KT ・ 無地 ・ 300×300 ・ 帯電防止 * 2.0 ⓧ図示 ・ TT ・ FT ・ 柄物 ・ 450×450 ・ 防滑性 ・ 2.5 ・ FOA ・ FOB ・ 500×500 ・ 3.0 ・ 特殊機能 帯電防止・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上～3.2未満又は 体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10～1×100Ω程度 ・ 接着剤は可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が添加されていないもの とする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の 種別 ・ 図示による ・ 材質の種類 * 軟質 ・ 硬質 高さ (mm) * 60 ・ 75 ・ 100 厚さ (mm) * 1.5以上 ・ 種類 ・ 単層品 ・ 複層品 色柄 ( ) 厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法 (mm) ( ) ・ 織じゅうたん 織り方 バ ー ーの形状 帯電性 備考 ・ ウレタンカーベット ・ カットバ ー ・ タブ ー ・ フォア ー ・ カット、タブ ー併用 色柄 * 模様のない無地 バ ー ー糸の繊維種等 * 無地の織りじゅうたんの種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種) 織じゅうたんの接合方法 * ヒート ー工法 ・ つづり縫い ・ タブ ー ー バ ー ーの形状 バ ー ー長さ (mm) 工法 帯電性 備考 ・ カットバ ー ・ 5～7 ・ * 全面接着工法 ・ 適用する ・ フォア ー ・ 4～6 ・ ・ グリッパ ー工法 ・ 適用しない ・ カット、タブ ー併用 ・ 			



章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																									
9 環境配慮改修工事	1 石綿含有建材の除去工事 [9.1.1,3～5]	・ アスベスト粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点 <table><tr><th>適用名称</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点(各施工箇所)</th></tr><tr><td>・ 測定1</td><td>処理作業前</td><td>処理作業室内</td><td>・ 計点</td></tr><tr><td>・ 測定2</td><td></td><td>調査対象室外部の付近</td><td>・ 計点</td></tr><tr><td>・ 測定3</td><td>処理作業中</td><td>処理作業室内</td><td>・ 計点</td></tr><tr><td>・ 測定4</td><td></td><td>セキリゲン入口</td><td>・ 計点</td></tr><tr><td>・ 測定5</td><td></td><td>集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td><td>・ 出口吹出し風速1m/s以下の位置計点</td></tr><tr><td>・ 測定6</td><td></td><td>処理作業室外 ・ 施工区画周辺・敷地境界</td><td>・ 計点</td></tr><tr><td>・ 測定7</td><td>処理作業後 (養生中)</td><td>処理作業室内</td><td>・ 計点</td></tr><tr><td>・ 測定8</td><td>処理作業後</td><td>処理作業室内</td><td>・ 計点</td></tr><tr><td>・ 測定9</td><td>(シート撤去後 1週間以降)</td><td>調査対象室外部の付近</td><td>・ 計点</td></tr></table> 測定方法 ・ 自動測定器による測定 <table><tr><th>測定名称</th><th>測定方法</th></tr><tr><td>・ 測定4</td><td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、</td></tr><tr><td>・ 測定5</td><td>繊維状粒子自動測定器(リトルマフインモニター)等の粉</td></tr><tr><td>・ 測定( )</td><td>じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td></tr></table> ・ JIS K 3850-1に基づいた測定 <table><tr><th>測定名称</th><th>ノズル口径 直径(mm)</th><th>試料の吸引流量 (L/min)</th><th>試料の吸引時間 (min)</th></tr><tr><td>・ 測定4</td><td>25</td><td>5</td><td>30</td></tr><tr><td>・ 測定5</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 測定( )</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 測定( )</td><td>47</td><td>10</td><td>120</td></tr><tr><td>・ 測定( )</td><td>47</td><td>10</td><td>240</td></tr><tr><td>・ 測定( )</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 石綿含有建材の処理 ・ 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 * 図示による 除去工法 * 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・ 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 * 湿潤化 ・ 固化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(熔融施設又は無害化処理施設) ・ 石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 * 図示による 除去工法 * 原形のまま、手ばらし ・ 破碎して除去 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 * 湿潤化 ・ 固化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(熔融施設又は無害化処理施設) ・ 石綿含有成形板等(石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外)の除去 除去対象範囲 * 図示による 除去した石綿含有成形板の処分 ・ 石綿含有石こうボード * 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 石綿含有せっこうボードを除く7x11x1含有成形板 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(熔融施設又は無害化処理施設) ・ 石綿含有成形板等(石綿含有けい酸カルシウム板第1種)の除去 除去対象範囲 * 図示による 養生方法 ・ 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(熔融施設又は無害化処理施設) ・ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去 下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による除去工法 * 石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・ 集じん装置併用手工具ケレン工法 ・ 集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30～50MPa程度) ・ 集塵装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上) ・ 超音波ケレン工法(HEPAフィルター付き掃除機併用) ・ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ・ 剥離剤併用高圧水洗工法(30～50MPa程度) ・ 剥離剤併用超高圧水洗工法(100MPa以上) ・ 剥離剤併用超音波ケレン工法 ・ 集じん装置付きデジタルライニングケレン工法	適用名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所)	・ 測定1	処理作業前	処理作業室内	・ 計点	・ 測定2		調査対象室外部の付近	・ 計点	・ 測定3	処理作業中	処理作業室内	・ 計点	・ 測定4		セキリゲン入口	・ 計点	・ 測定5		集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	・ 出口吹出し風速1m/s以下の位置計点	・ 測定6		処理作業室外 ・ 施工区画周辺・敷地境界	・ 計点	・ 測定7	処理作業後 (養生中)	処理作業室内	・ 計点	・ 測定8	処理作業後	処理作業室内	・ 計点	・ 測定9	(シート撤去後 1週間以降)	調査対象室外部の付近	・ 計点	測定名称	測定方法	・ 測定4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、	・ 測定5	繊維状粒子自動測定器(リトルマフインモニター)等の粉	・ 測定( )	じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定名称	ノズル口径 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	・ 測定4	25	5	30	・ 測定5				・ 測定( )				・ 測定( )	47	10	120	・ 測定( )	47	10	240	・ 測定( )					除去対象範囲 * 図示による 作業場の隔離 * 行わない ・ 行う 試験施工 * 行わない ・ 行う 養生方法 ・ 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(熔融施設又は無害化処理施設) 除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 * 改修標準仕様書9.1.3(3)による 確認及び後片付け * 改修標準仕様書9.1.3(4)の(7)、(9)、(10)及び(11)による ・ 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 * 図示による ・ 断熱材 断熱材の種類( )、断熱材の厚さ( mm) 施工箇所 * 図示による ・ 外装材 <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 * 4層外壁改修工事による 不陸等の下地調整 * 図示による 通気層の有無 ・ あり( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け * 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・ 断熱材打込み工法 <table><tr><th>種類</th><th>厚さ(mm)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td><td>・ 25</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スチ層なし)</td><td>・ 2種1A ・ 25 ・ 3種1A ・ 25</td><td>・ 外壁 ・ ・ スラブ ・</td></tr><tr><td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td><td>・ 25</td><td>・</td></tr><tr><td>・ フェノールフォーム断熱材</td><td>・ 25</td><td>・</td></tr></table> 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 * A種1 ・ A種1H 吹き付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 施工箇所 * 窓回り等の断熱材補修部分、バルコニー周りの床版下など、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・ 図示による 現場発泡断熱材 断熱材後張り工法 断熱材の種類( ) 断熱材の厚さ( mm) 断熱材にせっこうボード等を張り付けたバネ (材質 厚さ mm) 張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張り付け工法 ・ 植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の種類等 * 図示による 見切り材、舗装材、排水穴、マニグ材等 * 図示による ・ かん水装置 ・ 設置する(種類 ・ ) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の枯損償の期間 * 引き渡しの日から1年 ・ 既存舗装の撤去及び再利用 * 図示による ・	種類	防火性能	備考	・			種類	厚さ(mm)	施工箇所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25	・	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スチ層なし)	・ 2種1A ・ 25 ・ 3種1A ・ 25	・ 外壁 ・ ・ スラブ ・	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 25	・	・ フェノールフォーム断熱材	・ 25	・	10 その他	1 フリーアクセスフロア (20.2.2)	<table><tr><th>構法</th><th>・ 置敷式</th><th>・ 支柱調整式</th></tr><tr><td>所定荷重</td><td>* 3,000N ・ 5,000N</td><td>* 3,000N ・ 5,000N</td></tr><tr><td>耐震性能</td><td>・ 1.0G ・ 0.6G</td><td>・ 1.0G ・ 0.6G</td></tr><tr><td>バネ寸法(mm)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>高さ(mm)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>表面仕上材</td><td>* タイルタペット ・ 帯電防止床タイル</td><td>* タイルタペット ・ 帯電防止床タイル</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>* 図示による</td><td>* 図示による</td></tr></table> <div>寸法精度</div> <div>* 標準仕様書20.2.2(2)(9)(a)～(c)による</div> <div>スロープ及びバネ</div> <div>* 製造所の仕様による</div> <div>図示による</div> <div>配線用取り出しバネ</div> <div>フリーアクセス全体面積に対する接地割合 * 製造所の仕様による</div> <div>・ 20～30パーセント</div> <div>配線取り出し開口 * 製造所の仕様による</div> <div>・ バネ枚につき40mm×80mm程度の開孔1か所以上</div> <div>空調用吹出(水込み)バネ</div> <div>・ なし</div> <div>・ 有(形式、施工箇所：* 図示による)</div> <div>案内用図記号はJIS Z 8210による。</div> <div>誘導標識、非常用出入口等の表示 * 消防法に適合する市販品</div> <div>・ 室名、ビルグラフィ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等</div> <div>* 図示による</div> <div>ブラインド (20.2.14)</div> <table><tr><th>形式</th><th>操作方法</th><th>種類</th><th>スラットの材質</th><th>スラット幅 (mm)</th><th>ボックス、 レールの材質</th><th>幅、高さ</th></tr><tr><td>・ 横形</td><td>* 手動</td><td>* 17式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td><td>* アルミ 合金製 G</td><td>* 25</td><td>* 鋼製</td><td>* 図示</td></tr><tr><td></td><td>・ 電動</td><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 縦形</td><td>* 手動</td><td>* 2本操作 コード式 ・ 1本操作 コード式</td><td>* アルミスラット ・ クロススラット</td><td>・ 80 ・ 100</td><td>アルミ 合金製</td><td>* 図示</td></tr><tr><td></td><td>・ 電動</td><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <div>アルミスラットの材質 焼付塗装仕上げ</div> <div>クロススラットの材質 消防法で定める防災性鋼の表示がある特殊樹脂加工</div> <div>ロールスクリーン (20.2.15)</div> <div>カーテン (20.2.16)</div> <div>カーテンレール (20.2.16)</div> <div>ブラインドボックス及びカーテンボックス</div> <table><tr><th>材種</th><th>操作方式</th><th>遮光性能</th><th>寸法(mm)</th><th>取付箇所</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ ガラス繊維製</td><td>・ 電動式</td><td>・ 1級</td><td>* 図示</td><td>* 図示</td><td></td></tr><tr><td>・ 合成・天然 繊維製</td><td>・ スプリング式</td><td>・ 2級</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・ 木製</td><td>* チェーン式</td><td>・ 3級</td><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <div>巻取バネ、ウェイトバー、操作コードまたは操作チェーンその他の材料</div> <div>* 製造所の仕様</div> <div>暗幕カーテンの両端、上部及び小合わせの重なり * 300mm以上</div> <div>材料による区分</div> <div>* アルミ及びアルミ合金の押出成形材</div> <div>・ ステンレス製</div> <div>強さによる区分</div> <div>* 10-90</div> <div>仕上げ</div> <div>* アルミ</div> <div>形状</div> <div>* 角形</div> <div>溝幅×深さ(mm)</div> <div>・ 90×150</div> <div>・ 120×80</div> <div>・ 120×150</div> <div>・ 150×80</div> <div>・ 図示による</div> <div>材質</div> <div>・ 集成材(仕上げ：)</div> <div>・ アルミ製 押出型材(市販品)</div> <div>表面処理</div> <div>・ BC-1</div> <div>・ BC-2(*標準色( )・特注色( ))</div> <div>・ 鋼製(仕上げ：)</div>	構法	・ 置敷式	・ 支柱調整式	所定荷重	* 3,000N ・ 5,000N	* 3,000N ・ 5,000N	耐震性能	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 1.0G ・ 0.6G	バネ寸法(mm)			高さ(mm)			表面仕上材	* タイルタペット ・ 帯電防止床タイル	* タイルタペット ・ 帯電防止床タイル	施工箇所	* 図示による	* 図示による	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス、 レールの材質	幅、高さ	・ 横形	* 手動	* 17式 ・ コード式 ・ 操作棒式	* アルミ 合金製 G	* 25	* 鋼製	* 図示		・ 電動	—					・ 縦形	* 手動	* 2本操作 コード式 ・ 1本操作 コード式	* アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミ 合金製	* 図示		・ 電動	—					材種	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考	・ ガラス繊維製	・ 電動式	・ 1級	* 図示	* 図示		・ 合成・天然 繊維製	・ スプリング式	・ 2級	・	・		・ 木製	* チェーン式	・ 3級	・			・		・				8 天井点検口	9 床点検口	<table><tr><th>材種</th><th>寸法 (mm)</th><th>形式</th><th>外枠</th><th>内枠</th></tr><tr><td>* アルミ製</td><td>* 450×450</td><td>* 一般形</td><td>* 屋内外用</td><td>* 額縁タイプ</td></tr><tr><td>・</td><td>・600×600</td><td>・</td><td>* 屋内用</td><td>* 目地タイプ</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・気密形</td><td></td><td></td></tr></table> <div>密閉形とは、ポリ、パネなど追加構造にパネを装着したものとする。</div> <div>手すり</div> <div>天井見切り縁等</div> <div>視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導 用ブロック) (11.2.2、19.2.2)</div> <div>トイレブース (20.2.5)</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>種類</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>屋内</td><td>・ 塩化ビニル製 ・ セミックタイル ・ レジンコンクリート製 ・ コンクリート製</td><td>* 300×300 ・ 300×300 ・ 300×300 ・</td><td>・ 7.0 ・ ・ ・</td></tr><tr><td>屋外</td><td>・ セミックタイル ・ レジンコンクリート製 ・ コンクリート製</td><td>* 300×300 ・ 300×300 ・</td><td>・ ・ ・</td></tr></table> <div>突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による</div> <table><tr><th colspan="2">表面材の材料</th><th>脚部</th><th>ドアノック</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>形状</th><th>材質</th></tr><tr><td>* マグネシウム樹脂系化粧板</td><td>・ ポリ</td><td>* 幅木タイプ</td><td>* アルミ製 ・ ステンレス製</td></tr><tr><td>・ ポリ</td><td></td><td></td><td>・ 表面材と同材</td></tr></table>	材種	寸法 (mm)	形式	外枠	内枠	* アルミ製	* 450×450	* 一般形	* 屋内外用	* 額縁タイプ	・	・600×600	・	* 屋内用	* 目地タイプ	・	・	・気密形			施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・ 塩化ビニル製 ・ セミックタイル ・ レジンコンクリート製 ・ コンクリート製	* 300×300 ・ 300×300 ・ 300×300 ・	・ 7.0 ・ ・ ・	屋外	・ セミックタイル ・ レジンコンクリート製 ・ コンクリート製	* 300×300 ・ 300×300 ・	・ ・ ・	表面材の材料		脚部	ドアノック			形状	材質	* マグネシウム樹脂系化粧板	・ ポリ	* 幅木タイプ	* アルミ製 ・ ステンレス製	・ ポリ			・ 表面材と同材
	適用名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所)																																																																																																																																																																																																																																													
	・ 測定1	処理作業前	処理作業室内	・ 計点																																																																																																																																																																																																																																													
	・ 測定2		調査対象室外部の付近	・ 計点																																																																																																																																																																																																																																													
	・ 測定3	処理作業中	処理作業室内	・ 計点																																																																																																																																																																																																																																													
	・ 測定4		セキリゲン入口	・ 計点																																																																																																																																																																																																																																													
	・ 測定5		集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	・ 出口吹出し風速1m/s以下の位置計点																																																																																																																																																																																																																																													
	・ 測定6		処理作業室外 ・ 施工区画周辺・敷地境界	・ 計点																																																																																																																																																																																																																																													
	・ 測定7	処理作業後 (養生中)	処理作業室内	・ 計点																																																																																																																																																																																																																																													
	・ 測定8	処理作業後	処理作業室内	・ 計点																																																																																																																																																																																																																																													
・ 測定9	(シート撤去後 1週間以降)	調査対象室外部の付近	・ 計点																																																																																																																																																																																																																																														
測定名称	測定方法																																																																																																																																																																																																																																																
・ 測定4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、																																																																																																																																																																																																																																																
・ 測定5	繊維状粒子自動測定器(リトルマフインモニター)等の粉																																																																																																																																																																																																																																																
・ 測定( )	じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																																																																																																																
測定名称	ノズル口径 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																																																																																																																														
・ 測定4	25	5	30																																																																																																																																																																																																																																														
・ 測定5																																																																																																																																																																																																																																																	
・ 測定( )																																																																																																																																																																																																																																																	
・ 測定( )	47	10	120																																																																																																																																																																																																																																														
・ 測定( )	47	10	240																																																																																																																																																																																																																																														
・ 測定( )																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																															
・																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																															
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25	・																																																																																																																																																																																																																																															
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スチ層なし)	・ 2種1A ・ 25 ・ 3種1A ・ 25	・ 外壁 ・ ・ スラブ ・																																																																																																																																																																																																																																															
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 25	・																																																																																																																																																																																																																																															
・ フェノールフォーム断熱材	・ 25	・																																																																																																																																																																																																																																															
構法	・ 置敷式	・ 支柱調整式																																																																																																																																																																																																																																															
所定荷重	* 3,000N ・ 5,000N	* 3,000N ・ 5,000N																																																																																																																																																																																																																																															
耐震性能	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 1.0G ・ 0.6G																																																																																																																																																																																																																																															
バネ寸法(mm)																																																																																																																																																																																																																																																	
高さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																	
表面仕上材	* タイルタペット ・ 帯電防止床タイル	* タイルタペット ・ 帯電防止床タイル																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	* 図示による	* 図示による																																																																																																																																																																																																																																															
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス、 レールの材質	幅、高さ																																																																																																																																																																																																																																											
・ 横形	* 手動	* 17式 ・ コード式 ・ 操作棒式	* アルミ 合金製 G	* 25	* 鋼製	* 図示																																																																																																																																																																																																																																											
	・ 電動	—																																																																																																																																																																																																																																															
・ 縦形	* 手動	* 2本操作 コード式 ・ 1本操作 コード式	* アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミ 合金製	* 図示																																																																																																																																																																																																																																											
	・ 電動	—																																																																																																																																																																																																																																															
材種	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																												
・ ガラス繊維製	・ 電動式	・ 1級	* 図示	* 図示																																																																																																																																																																																																																																													
・ 合成・天然 繊維製	・ スプリング式	・ 2級	・	・																																																																																																																																																																																																																																													
・ 木製	* チェーン式	・ 3級	・																																																																																																																																																																																																																																														
・		・																																																																																																																																																																																																																																															
材種	寸法 (mm)	形式	外枠	内枠																																																																																																																																																																																																																																													
* アルミ製	* 450×450	* 一般形	* 屋内外用	* 額縁タイプ																																																																																																																																																																																																																																													
・	・600×600	・	* 屋内用	* 目地タイプ																																																																																																																																																																																																																																													
・	・	・気密形																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																														
屋内	・ 塩化ビニル製 ・ セミックタイル ・ レジンコンクリート製 ・ コンクリート製	* 300×300 ・ 300×300 ・ 300×300 ・	・ 7.0 ・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																														
屋外	・ セミックタイル ・ レジンコンクリート製 ・ コンクリート製	* 300×300 ・ 300×300 ・	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																														
表面材の材料		脚部	ドアノック																																																																																																																																																																																																																																														
		形状	材質																																																																																																																																																																																																																																														
* マグネシウム樹脂系化粧板	・ ポリ	* 幅木タイプ	* アルミ製 ・ ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																														
・ ポリ			・ 表面材と同材																																																																																																																																																																																																																																														

[illegible]



章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項						
9	感熱表示ラベル	導電部の接続端子周辺には不可逆性の感熱表示ラベルを貼付する。 （受圧部の2次側端子、低圧盤1次側母線）		4	パワーコンディショナー	出力 相 線 式 V 定格容量 kW 自立運転機能 ・ 有り ・ 無し		10	1 工 事 範 囲	・ 配管 ・ 配線 機器取付		15	② 火災報知設備等	○ 自動火災報知設備 ・ 非常警報設備 ・ 漏電火災警報器 ・ 火災通報装置 ・ 自動閉鎖装置		18	A 構 内 線 路			
	10	高調波計算書	機器承諾図提出前に高調波流出電流を計算し、監督職員に提出する。		5	売 電	・ 行う ・ 行わない		2	対 象 室 名	・ ・		1	施 工 方 式	・ 地中配線 ・ 架空配線					
	11	予 備 品 等	標準仕様書によるほか下記による。 ヒューズ類（種類ごとに下記の数量とする） ・ 現用数 ・ 現用数の20％（1個以上） A B C 10型消火器（屋外は樹脂製の箱入りとする） 主回路接続図（透明ケース入り）		6	太陽電池モジュール出力保証	保証期間開始日は引渡し日とする。		3	増 幅 器	L o形増幅器とする。		② 受 信 機	・ P型1級 ・ P型2級 ○ R形 ・ 単独形 ・ 複合形（ ）回線			3	ハ ン ド ホール	ブロックハンドホールとする。	
3	A 直流電源装置			⑤ ① 電 気 方 式	・ 幹線 単相3線式 200／100V ○ 分岐 単相2線式 （○100V ○200V） ・ 分岐 直流2線式 100V		4	5 スクリーン	・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 広角型（ワイド型） ・ 標準型 ・ 手動巻上式 ・ 電動巻上式（ ・ 無線 ・ 有線 ）		7	予 備 品 等	標準仕様書によるほか下記による 警戒区域図（透明ケースに収納）		B 屋 外 機 器					
	1 用 途	・ 非常用照明（建築基準法） ・ 受変電設備用			6	映像・音響設備		・ C Dプレーヤ ・ オーディオレコーダ ・ ブルレーノDVD ・		B 誘 導 灯 等				1 機 器		・ 分電盤 ・ 端子盤 ・ コンセント ・ スピーカ ・ 時計 ・				
	2 蓄 電 池	・ H S型鉛蓄電池 ・ M S E型鉛蓄電池 ・ 長寿命M S E型鉛蓄電池 ・ リチウム二次電池 ・ ニッケル・カドミウムアルカリ電池			11	① 放 送 設 備		・ 一般用 ○ 非常一般兼用		1 誘導灯の種別		・ 避難口 ・ 通路 ・ 客席		2		外灯区分閉閉器	配線用遮断器（トリップ機構無し）をポール内部に設置する。			
3	予 備 品 等	標準仕様書によるほか下記による。 主回路接続図（透明ケース入り）		② 配 線 器 具	スイッチ、コンセントは大角形とする。 2連以上スイッチは、ネーム付とする。 床コンセント ・ アップ式 ・ フロア形 コンセント容量20A以上、3P以上、防水形はプラグを付ける。 接地極付コンセント（2P15A（E））及び防雨形コンセントの プラグは不要とする。		④ スピーカ	一般放送のスピーカは図面に特記なき場合は下記による。 壁掛け形 S W 1 H i－3 V O 天井埋込形 S C 6 H i－1（3）V 3 M 非常放送の場合は消防法適合品とし、形状は一般放送と同様とする。		2	誘 導 標 識	・ 避難口 ・ 通路 誘導標識は所轄の消防署と協議の上、取付とする。		3	ポール基礎	・ 設計図による ・ 標準図による ・ 埋込式 ・ ベースプレート式				
B	交流無停電電源装置（UPS）			3	非常用照明器具	・ 電池内蔵型 ・ 電源別置形		5	放 送 回 路	時報及び自動放送（体操放送等）は音量調節器を経由した回路とする。（一斉放送回路は使用しない）		C	ガス漏れ警報設備	・ L Pガス ・ 都市ガス		⑬ ① 機 器 取 付 高	機器の取付高は、下表を標準とする。ただし、監督職員の指示により変更することがある。			
1 方 式	・ 常時インバータ給電方式（ ・ 簡易型） ・ ラインインタクティブ方式 ・ 常時商用給電方式		4	照 明 制 御	・ 人感センサー制御 ・ 外光（昼光）利用 ・ 初期照度補正 ・ 段階調光 ・ 連続調光 設計照度はJ I Sによる。		6	接 続	卓上型増幅器の場合、増幅器と外部配線（壁ボックス等）の接続は、コネクターによる。		1	警 報 対 象	・ 現地警報 ・ 現地警報及び中央警報 ・ 遮断弁運動		電 力 貯 蔵 設 備					
2 定 格 出 力	（ ）k V A		⑤ 光 源	光透過色の図示なき場合は下記による L E D ○ 昼白色 ・ 電球色		12	1 音声誘導装置	投出部 ・ 磁気式 ・ 無線式 ・ 画像認識 案内表示部 ・ 音声 ・ 音響		3	警 報 器 電 源	・ A C 100 V ・ D C 24 V		そ の 他						
3 停電補償時間	（ ）分（定格出力運転時）		6	コ ン セ ン ト プ レ ー ト	・ シール等により商用系、自家発系を明示すること。 ・ O Aタップについては回路番号を明示すること。		2	ト イ レ 等 呼 出 装 置	呼出ボタンは呼出確認ができるものとし、引き紐付とする。		4	受 信 機	・ 単独 ・ 火報受信機等と一体			電 灯				
4 予 備 品 等	標準仕様書によるほか下記による。 主回路接続図（透明ケース入り）但し、簡易形は除く		1	電 気 方 式	三相3線式		3	イン ター ホン 種 別	・ インターホン ・ テレビインターホン		5	ガ ス 遮 断 弁	・ 本工事 ・ 別途工事		防 犯 設 備					
4	A 非常用発電設備			2	電 源 を 必 要 と す る 機 器	・ 空調設備 ・ 換気設備 ・ 給排水設備 ・ 浄化設備 ・ 消火設備 ・ 厨房設備 ・ 給湯設備 ・ 排煙設備 ・ エレベータ設備 ・ コンセント ・ 建築関係設備 ・ 備品関係設備		4	4 形 式	観機 ・ 壁掛形 ・ 卓上形 子機 ・ 壁掛形 ・ 卓上形 ・ 点字説明付 ・ 確認灯付		3	監 視	・ 単独 ・ 中央監視室（別途工事）に接続			雷 保 護 設 備			
	1 電 気 方 式	三相3線式 ・ 高圧 ・ 低圧		3	監 視	・ 警報盤 ・ 中央監視室（別途工事）に接続		5	用 途	・ 庁内連絡 ・ 外部受付 ・ 身体障がい者用兼用		4	空 調 電 気 設 備	・ 本工事 ・ 別途工事		表 示 共 同 受 信 設 備				
	2 用 途	・ 消防設備負荷 ・ 建築基準法関連負荷 ・ 一般負荷		5	機 器 の 接 続	・ 本工事 ・ 別途工事		13	1 アンテナ	・ U H F ・ B S／110° C S CS ・ F M ・ 標準図による ・ 一般品		5	燃 料 系 統	・ 常時インバータ給電方式（ ・ 簡易型） ・ ラインインタクティブ方式 ・ 常時商用給電方式				火 災 報 知		
3 使 用 燃 料	・ 灯油 ・ 軽油 ・ A重油 ・ ガス		7	構内情報通信網設備			2	2 機 器	分岐器、分配器及び直列ユニットは、C S、B S、U H F・F M 共用型とする。		4	保 守 運 転	自動		ガ ス 検 知					
4 形 式	・ 屋内形 ・ 屋外形 ・ 配電盤別置形 ・ 配電盤搭載形（オープン形） ・ 配電盤搭載形（キュービクル形）		⑧ ① 工 事 範 囲	○ 配管 ○ 配線 ・ 端子盤取付 ・ 機器収納ラック等取付 ・ 情報通信機器取付		4	4 形 式	観機 ・ 壁掛形 ・ 卓上形 子機 ・ 壁掛形 ・ 卓上形 ・ 点字説明付 ・ 確認灯付		2	燃 料 系 統	・ 本工事 ・ 別途工事（ ）		11		防 災 電 源	建築基準法及び消防法に係る発電装置は、関係法令に適合している 旨の試験成績書等を監督職員に提出する。			
5 発 電 機	（ ）k V A以上		2	交 換 機	・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 新 設 ・ 既存交換機改修 ・ デジタル交換機 ・ ボタン電話装置 ・ I P－P B X ・ V o I Pサババ		3	3 インターホン種別	・ インターホン ・ テレビインターホン		3	監 視	・ 単独 ・ 中央監視室（別途工事）に接続			情 報 表 示 装 置				
6 原 動 機	（ ）k W以上 ・ ディーゼル ・ ガスエンジン ・ ガスタービン		3	電 話 機	・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 固定電話 ・ デジタルコードレス電話		4	4 形 式	観機 ・ 壁掛形 ・ 卓上形 子機 ・ 壁掛形 ・ 卓上形 ・ 点字説明付 ・ 確認灯付		2	燃 料 系 統	・ 本工事 ・ 別途工事（ ）		11		防 災 電 源	建築基準法及び消防法に係る発電装置は、関係法令に適合している 旨の試験成績書等を監督職員に提出する。		
7 連続運転時間	（ ）時間以上		4	保安器用接地	・ 本工事 ・ 別途工事		5	5 アンテナ基礎及びボルト	基 礎 ・ 本工事 ・ 別途工事 ボルト ・ 本工事 ・ 別途工事		3	監 視	・ 単独 ・ 中央監視室（別途工事）に接続				12	予 備 品 等	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）	
8 運 転 音	機器、排気管及び排風ダクトより1mの位置での運転音 ・ 105dB（A） ・ 85dB（A） ・ 75dB（A）		5	保安器用接地	・ 本工事 ・ 別途工事		6	6 受 信 端 子	・ 単独 ・ コンセントと同一プレート		4	保 護 レベル	・ I ・ II ・ III ・ IV			ガ ス 検 知		標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）		
9 保 守 運 転	自動		9	A マルチサイロ設備	・ L E D式（ ・ 4色 ・ フルカラー ） ・ 液晶式		7	7 ブ ラ グ	・ 受検端子に付属させる		5	大地抵抗率の測定	工事着手時に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。		12			予 備 品 等	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）	
10 燃 料 系 統	・ 本工事 ・ 別途工事（ ）		1	情報表示盤	・ L E D式（ ・ 2モード ・ 4モード ） ・ 液晶式		14	1 調 査 仕 様	図面に記載されていない事項は全て（一社）日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ電波障害調査要領」による。		17	1 受雷部システム	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体				火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）		
11 防 災 電 源	建築基準法及び消防法に係る発電装置は、関係法令に適合している 旨の試験成績書等を監督職員に提出する。		2	出退表示設備			2	2 調 査 機 関	テレビ電波障害の調査は、（一社）日本CATV技術協会による。			2	引下導線システム	・ 引下げ導線 ・ 建築構造体利用		表 示 共 同 受 信 設 備		標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）		
12 予 備 品 等	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）		3	1 出退表示盤	・ L E D式（ ・ 2モード ・ 4モード ） ・ 液晶式		3	3 調 査 内 容	・ 事前調査 ・ 中間調査 ・ 事後調査			3	接地システム	・ 板状接地極 ・ 垂直接地極 ・ 放射状接地極（水平接地極） ・ 環状接地極 ・ 網状接地極 ・ 構造体利用接地極				火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）	
B 太陽光発電			C	時刻表示設備			4	4 アンテナマスト	・ 標準図による ・ 設計図による ・ 自立型 ・ 壁面取付形		4	保護レベル	・ I ・ II ・ III ・ IV		ガ ス 検 知		標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）			
1 公称最大出力	（ ）kW以上 （日射強度 1kW/m <sup>2</sup> 、25℃、AM1.5）		1	観 時 計	水晶式（選定0.7秒以下）		5	5 アンテナ基礎及びボルト	基 礎 ・ 本工事 ・ 別途工事 ボルト ・ 本工事 ・ 別途工事		5	大地抵抗率の測定	工事着手時に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。			表 示 共 同 受 信 設 備	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）			
2 耐 風 速	建築基準法施行令第87条の規定による風圧力に耐えるものとし、強度計算書を監督職員に提出する。		2	子 時 計	・ 壁掛形 ・ 埋込形 ・ 吊下形 ・ スピーカ組込 ・ アナログ式 ・ デジタル式		6	6 受 信 端 子	・ 単独 ・ コンセントと同一プレート		6	雷 保 護 設 備	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体				火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）		
3 系 統 運 系	・ 行う ・ 行わない 系統運系を行う場合は、「系統運系技術要件ガイドライン」を満足すること。		3	電池時計	電池はリチウム電池とする。		7	7 ブ ラ グ	・ 受検端子に付属させる		7	雷 保 護 設 備	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体		火 災 報 知			標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）		
設計者			1 観 時 計	水晶式（選定0.7秒以下）		14	1 調 査 仕 様	図面に記載されていない事項は全て（一社）日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ電波障害調査要領」による。		17	1 受雷部システム	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体		表 示 共 同 受 信 設 備		標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）				
	1 観 時 計	水晶式（選定0.7秒以下）		2 調 査 機 関	テレビ電波障害の調査は、（一社）日本CATV技術協会による。		2 引下導線システム	・ 引下げ導線 ・ 建築構造体利用			2 雷 保 護 設 備	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体				火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）			
	2 子 時 計	・ 壁掛形 ・ 埋込形 ・ 吊下形 ・ スピーカ組込 ・ アナログ式 ・ デジタル式		3 調 査 内 容	・ 事前調査 ・ 中間調査 ・ 事後調査		3 接地システム	・ 板状接地極 ・ 垂直接地極 ・ 放射状接地極（水平接地極） ・ 環状接地極 ・ 網状接地極 ・ 構造体利用接地極			4 保護レベル	・ I ・ II ・ III ・ IV			ガ ス 検 知		標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）			
3 電池時計	電池はリチウム電池とする。		3	電池時計	電池はリチウム電池とする。		7	7 ブ ラ グ	・ 受検端子に付属させる		7	雷 保 護 設 備	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体				火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）		
設計者			1 観 時 計	水晶式（選定0.7秒以下）		14	1 調 査 仕 様	図面に記載されていない事項は全て（一社）日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ電波障害調査要領」による。		17	1 受雷部システム	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体		表 示 共 同 受 信 設 備		標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）				
	1 観 時 計	水晶式（選定0.7秒以下）		2 調 査 機 関	テレビ電波障害の調査は、（一社）日本CATV技術協会による。		2 引下導線システム	・ 引下げ導線 ・ 建築構造体利用			2 雷 保 護 設 備	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体			火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）				
	2 子 時 計	・ 壁掛形 ・ 埋込形 ・ 吊下形 ・ スピーカ組込 ・ アナログ式 ・ デジタル式		3 調 査 内 容	・ 事前調査 ・ 中間調査 ・ 事後調査		3 接地システム	・ 板状接地極 ・ 垂直接地極 ・ 放射状接地極（水平接地極） ・ 環状接地極 ・ 網状接地極 ・ 構造体利用接地極			4 保護レベル	・ I ・ II ・ III ・ IV				ガ ス 検 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）			
3 電池時計	電池はリチウム電池とする。		3	電池時計	電池はリチウム電池とする。		7	7 ブ ラ グ	・ 受検端子に付属させる		7	雷 保 護 設 備	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体				火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）		
設計者			1 観 時 計	水晶式（選定0.7秒以下）		14	1 調 査 仕 様	図面に記載されていない事項は全て（一社）日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ電波障害調査要領」による。		17	1 受雷部システム	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体		表 示 共 同 受 信 設 備	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）					
	1 観 時 計	水晶式（選定0.7秒以下）		2 調 査 機 関	テレビ電波障害の調査は、（一社）日本CATV技術協会による。		2 引下導線システム	・ 引下げ導線 ・ 建築構造体利用			2 雷 保 護 設 備	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体			火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）				
	2 子 時 計	・ 壁掛形 ・ 埋込形 ・ 吊下形 ・ スピーカ組込 ・ アナログ式 ・ デジタル式		3 調 査 内 容	・ 事前調査 ・ 中間調査 ・ 事後調査		3 接地システム	・ 板状接地極 ・ 垂直接地極 ・ 放射状接地極（水平接地極） ・ 環状接地極 ・ 網状接地極 ・ 構造体利用接地極			4 保護レベル	・ I ・ II ・ III ・ IV				ガ ス 検 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）			
3 電池時計	電池はリチウム電池とする。		3	電池時計	電池はリチウム電池とする。		7	7 ブ ラ グ	・ 受検端子に付属させる		7	雷 保 護 設 備	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体				火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）		
設計者			1 観 時 計	水晶式（選定0.7秒以下）		14	1 調 査 仕 様	図面に記載されていない事項は全て（一社）日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ電波障害調査要領」による。		17	1 受雷部システム	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体		表 示 共 同 受 信 設 備	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）					
	1 観 時 計	水晶式（選定0.7秒以下）		2 調 査 機 関	テレビ電波障害の調査は、（一社）日本CATV技術協会による。		2 引下導線システム	・ 引下げ導線 ・ 建築構造体利用			2 雷 保 護 設 備	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体			火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）				
	2 子 時 計	・ 壁掛形 ・ 埋込形 ・ 吊下形 ・ スピーカ組込 ・ アナログ式 ・ デジタル式		3 調 査 内 容	・ 事前調査 ・ 中間調査 ・ 事後調査		3 接地システム	・ 板状接地極 ・ 垂直接地極 ・ 放射状接地極（水平接地極） ・ 環状接地極 ・ 網状接地極 ・ 構造体利用接地極			4 保護レベル	・ I ・ II ・ III ・ IV				ガ ス 検 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）			
3 電池時計	電池はリチウム電池とする。		3	電池時計	電池はリチウム電池とする。		7	7 ブ ラ グ	・ 受検端子に付属させる		7	雷 保 護 設 備	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体				火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）		
設計者			1 観 時 計	水晶式（選定0.7秒以下）		14	1 調 査 仕 様	図面に記載されていない事項は全て（一社）日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ電波障害調査要領」による。		17	1 受雷部システム	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体		表 示 共 同 受 信 設 備	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）					
	1 観 時 計	水晶式（選定0.7秒以下）		2 調 査 機 関	テレビ電波障害の調査は、（一社）日本CATV技術協会による。		2 引下導線システム	・ 引下げ導線 ・ 建築構造体利用			2 雷 保 護 設 備	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体			火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）				
	2 子 時 計	・ 壁掛形 ・ 埋込形 ・ 吊下形 ・ スピーカ組込 ・ アナログ式 ・ デジタル式		3 調 査 内 容	・ 事前調査 ・ 中間調査 ・ 事後調査		3 接地システム	・ 板状接地極 ・ 垂直接地極 ・ 放射状接地極（水平接地極） ・ 環状接地極 ・ 網状接地極 ・ 構造体利用接地極			4 保護レベル	・ I ・ II ・ III ・ IV				ガ ス 検 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）			
3 電池時計	電池はリチウム電池とする。		3	電池時計	電池はリチウム電池とする。		7	7 ブ ラ グ	・ 受検端子に付属させる		7	雷 保 護 設 備	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体				火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）		
設計者			1 観 時 計	水晶式（選定0.7秒以下）		14	1 調 査 仕 様	図面に記載されていない事項は全て（一社）日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ電波障害調査要領」による。		17	1 受雷部システム	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体		表 示 共 同 受 信 設 備	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）					
	1 観 時 計	水晶式（選定0.7秒以下）		2 調 査 機 関	テレビ電波障害の調査は、（一社）日本CATV技術協会による。		2 引下導線システム	・ 引下げ導線 ・ 建築構造体利用			2 雷 保 護 設 備	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体			火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）				
	2 子 時 計	・ 壁掛形 ・ 埋込形 ・ 吊下形 ・ スピーカ組込 ・ アナログ式 ・ デジタル式		3 調 査 内 容	・ 事前調査 ・ 中間調査 ・ 事後調査		3 接地システム	・ 板状接地極 ・ 垂直接地極 ・ 放射状接地極（水平接地極） ・ 環状接地極 ・ 網状接地極 ・ 構造体利用接地極			4 保護レベル	・ I ・ II ・ III ・ IV				ガ ス 検 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）			
3 電池時計	電池はリチウム電池とする。		3	電池時計	電池はリチウム電池とする。		7	7 ブ ラ グ	・ 受検端子に付属させる		7	雷 保 護 設 備	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体				火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）		
設計者			1 観 時 計	水晶式（選定0.7秒以下）		14	1 調 査 仕 様	図面に記載されていない事項は全て（一社）日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ電波障害調査要領」による。		17	1 受雷部システム	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体		表 示 共 同 受 信 設 備	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）					
	1 観 時 計	水晶式（選定0.7秒以下）		2 調 査 機 関	テレビ電波障害の調査は、（一社）日本CATV技術協会による。		2 引下導線システム	・ 引下げ導線 ・ 建築構造体利用			2 雷 保 護 設 備	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体			火 災 報 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）				
	2 子 時 計	・ 壁掛形 ・ 埋込形 ・ 吊下形 ・ スピーカ組込 ・ アナログ式 ・ デジタル式		3 調 査 内 容	・ 事前調査 ・ 中間調査 ・ 事後調査		3 接地システム	・ 板状接地極 ・ 垂直接地極 ・ 放射状接地極（水平接地極） ・ 環状接地極 ・ 網状接地極 ・ 構造体利用接地極			4 保護レベル	・ I ・ II ・ III ・ IV				ガ ス 検 知	標準仕様書によるほか下記による。 A B C 10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）			
3 電池時計																				





章 項 目		特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	
排水設備	③ 管の接合等	1) 鋼管と塩化ビニル管の接合は50A以下をユニオンシモク接合とし、管端防食継手との接合の際は異種管接続用管端防食管継手を使用する。65A以上の接合はフランジ接合とする。 2) 60S u以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の鋼管継手性能基準による継手とする。75S u以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。 3) 架橋ポリエチレン管及びポリブテン管の接合方法 ・ さや管ヘッダー工法 ・ ヘッダー工法（保温付管） ・ 分岐工法（ ・ 融着接合 ・ メカニカル接合 ） 4) 架橋ポリエチレン管及びポリブテン管の支持間隔は標準仕様書によるほか、メーカーの示す施工方法に準じ分岐部及び曲がり部においても適切に固定する。 5) ビニル管の接合方法 ・ 接着接合 ・ ゴム輪接合 ビニル管の接合方法をゴム輪接合とする場合、継手部には離脱防止金具を使用する。 6) ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ・ メカニカル接合 ・ 電気融着接合 75A以上 ・ 電気融着接合 水道用ポリエチレン二層管は50A以下とする。 7) 給水用高密度ポリエチレン管を使用する場合の配管支持間隔は標準仕様書及びメーカー施工標準のうち短い方を適用する。	3. 消火器ボックス	1) 屋外 ・ 樹脂製 ・ 2) 屋内 ・ 鋼製 ・  消火配管の保温仕様は、給水管を準用する。 （施工場所： ）  図示なき弁の耐圧は10kとする。	3. フレキシブルジョイント	ステンレス製ベローズ形とする。					
	④ 弁	図示なき弁の耐圧は10kとする。 土中配管に使用する弁は埋設用とする。 給水引き込み部は水道事業者の指定品とする。 ・ 定流量弁（ ・ 流量固定式 ・ 流量調整式 ）	4. 保 温		⑤ ダ ク ト	1) 長方形ダクトの製作 ・ アンクルフランジ工法 ・ コナーボルト工法 （ ・ 共振フランジ ・ スライドオンフランジ ） ただし、長辺が1500mmを超えるもの及び、最大静圧が500Paを超えるものはアンクル工法とする。 2) 円形ダクト ・ 亜鉛鉄板製（スパイラルダクト） ・ 硬質塩化ビニル製（VU管） 3) 防火区画貫通部の施工 貫通する部分の前後150mm以上を1．6mmの鋼板製とする。					
	5. タ ン ク	1) マンホールカバーは施設する。 2) 電極棒取付材及び電極棒の取付は本工事とする。 3) フレキシブルジョイントは（ ・ ステンレス製 ・ 合成ゴム製 ）とする。 4) 屋外に設置するタンクの積雪耐荷重は2KPa以上とする。 5) マンホールは、気密性を有する構造とし、断熱性を有するタンクの場合には保温形（二重蓋構造等）とする。 6) タンクから排水バルブまでの配管は給排水（都市ガス）とする。 7) ドレン配管はタンク本体から支持する。	5. 弁 の 耐 圧		6. 吹出口、吸込口	1) 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。 2) 着色 ・ する ・ しない					
	⑥ 空 気 抜 き	空気溜まりを生ずる箇所には、操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。	⑥ 所轄消防署		7. 点 検 口	サブライチャンバー、リターンチャンバー等には点検口（450×600）を取り付ける。					
	7. 電 気 工 事	1) 電源供給は（ ・ 本工事 ・ 別途電気工事 ） 2) 操作、制御回路は本工事とする。 （ ・ 一括管理用無電圧端子付とする ）			8. チャンバー	外壁に面するガリに設けるチャンバーは有効なドレン装置を設置すること。					
給湯設備	④ ① 配 管 材 料	1) 屋内汚水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D-V A）（WSP 042） ・ 耐火二層管（国土交通大臣認定品） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-V P）（JIS K 9798） ・ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（NET I S登録品） 2) 屋内雑排水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741）（50A以下） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D-V A）（WSP 042） ○ 耐火二層管（国土交通大臣認定品）（65A以上） ・ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（NET I S登録品） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-V P）（JIS K 9798） ・ 使用箇所は図記による。 3) 屋内通気管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741）（50A以下） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ○ 耐火二層管（国土交通大臣認定品）（65A以上） ・ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（NET I S登録品） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-V P）（JIS K 9798） 4) 屋外露出汚水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D-V A）（WSP 032） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-V P）（JIS K 9798） 5) 屋外露出雑排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D-V A）（WSP 032） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-V P）（JIS K 9798） 6) 屋外露出通気管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-V P）（JIS K 9798） 7) 屋外埋設汚水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ・ VP ・ VU ）（JIS K 6741） ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（REP-VU）（AS 58） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RS-VU）（JIS K 9797） 8) 屋外埋設雑排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ・ VP ・ VU ）（JIS K 6741） ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（REP-VU）（AS 58） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RS-VU）（JIS K 9797） 9) 建物から屋外第一斜まではVP管とする。	① 配 管 材 料	1) 給湯配管 ・ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-HV A）（JIS K 140） ○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管（JIS G 3448） 鋼管（JIS H 3300） ・ 被覆鋼管（JIS H 3300） ・ 架橋ポリエチレン管（JIS K 6769） ・ ポリブテン管（JIS K 6778） 2) 油配管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）（JIS G 3452） ・ ポリエチレン被覆鋼管（JIS G 3469） 架橋ポリエチレン管及びポリブテン管の支持間隔は標準仕様書によるほか、メーカーの示す施工方法に準じ分岐部及び曲がり部においても適切に固定する。	10. 自動制御設備	1. 自動制御方式 2. 中央監視装置 3. 電源装置 4. 温度調節器等 5. 計装工事の記録 6. そ の 他	図示による  ・ 有り（ ・ 本工事 ・ 別途工事 ） ・ 無し （仕様は図示による）  ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事 ） ・ 不要  取付け高さは ・ 1300mm ・  1) 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般共通事項19、電線類の規格による。（機器、屋際はこれよりなくてもよい） 用途： ① 電源線、接地線 ② 電気式の調節器（サーモ、ヒューミ等）用電線 ③ 各種検出部（温度、湿度等）、操作器（バルブ、ダンパー等）における制御信号、通信線を除く制御線  図示による				
	2. 小口径汚水側	VP管を接続する場合はVP-VU変換ソケットを使用する。 （建物から屋外第1斜までのVP管の接続は除く）	2. 管の接合等		11. 屋外フード類	図示なき弁の耐圧は5kとする。					
	3. 通 気 口	・ ベンドキャップ（VC：アルミ製） ・ 排水用通気（吸気）弁（樹脂製）	3. 電 気 工 事		12. 弁 の 耐 圧	図示なき弁の耐圧は10kとする。					
	4. マンホール蓋	1) マンホール蓋は頒付とする。 2) 塗装はSHASE-S 209による。 3) マンホール用手かぎを1組納品する。	④ 弁 の 耐 圧		13. 空調用流体の水質基準	日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器用水質ガイドライン）による。					
	⑤ 下水道事業管理者	・ 雲南市下水道局	⑥ 空 気 抜 き		14. 高調波対策	定格電流値が20Aを超える機器は高調波対策を施す。					
消火設備	① 消 火 機 器	○ 消火器（蓄圧式） ・ 1号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 広範囲型2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 屋外消火栓 ・ 連絡送水管 ○ スプリンクラー （仕様は図示による）	8	1. 処理種別及び方式 2. 人機算定式 3. そ の 他	1. 給湯配管 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-V A）（JWWA K 116） ・ 一般配管用ステンレス鋼管（JIS G 3448） 給水用高密度ポリエチレン管（PWA 005） 2) 冷水水 ・ 一般配管用ステンレス鋼管（JIS G 3448） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ 架橋ポリエチレン管（JIS K 6769） ・ ポリブテン管（JIS K 6778） （注）架橋ポリエチレン管及びポリブテン管はファンコイルユニット機器接続部のみに使用する。 ・ 空調配管用高性能ポリエチレン管（NET I S登録品） 3) 冷却水 ・ 一般配管用ステンレス鋼管（JIS G 3448） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-V A）（JWWA K 116） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ 給水用高密度ポリエチレン管（PWA 005） 4) 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）（JIS G 3452） 5) 油 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）（JIS G 3452） ・ ポリエチレン被覆鋼管（JIS G 3469） 6) 蒸気遠管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370黒Sch 40）（JIS G 3454） 7) 冷媒 ○ 冷媒用断熱材被覆鋼管（ポリエチレン保温材（難燃性））（JCDA 0009） 8) ドレン ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741）（50A以下） ・ 空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管 9) 60S u以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準による継手とする。75S u以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。	11. 電 気 設備	1. 配 線 材 料 2. 機器取付高 3. 再使用機器 4. 予 備 配 管	図示による。  機器の取付高は下記を標準とする。ただし監督職員の指示により変更することがある。 1) スイッチ 1．300mm（床下～中心）  取外し再使用する機器は清掃及び絶縁抵抗測定の上取付ける。  壁内に埋込みとなる分電盤、端子盤等には予備配管として、E25×2又はFDF22×2を設置する。 1) 天井スラブの場合 天井又は床下20cmまで立上げ、ボックス止めとする 2) 二重天井の場合 配管を天井内まで立上げる			
	② 配 管 材 料	1) 隠ぺい、露出部分 ○ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS K 3452） 2) 土中埋設 ・ 排水用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（SGP-V S）（WSP 041） ・ 消火設備配管用高性能ポリエチレン管（PLO60号） （注）性能認定品以外を使用する場合は消防法施行令第32条による申請を行う。	② 管の接合等	1) 給水 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-V A）（JWWA K 116） ・ 一般配管用ステンレス鋼管（JIS G 3448） 2) 冷水水 ・ 一般配管用ステンレス鋼管（JIS G 3448） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ 架橋ポリエチレン管（JIS K 6769） ・ ポリブテン管（JIS K 6778） （注）架橋ポリエチレン管及びポリブテン管はファンコイルユニット機器接続部のみに使用する。 ・ 空調配管用高性能ポリエチレン管（NET I S登録品） 3) 冷却水 ・ 一般配管用ステンレス鋼管（JIS G 3448） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-V A）（JWWA K 116） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ 給水用高密度ポリエチレン管（PWA 005） 4) 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）（JIS G 3452） 5) 油 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）（JIS G 3452） ・ ポリエチレン被覆鋼管（JIS G 3469） 6) 蒸気遠管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370黒Sch 40）（JIS G 3454） 7) 冷媒 ○ 冷媒用断熱材被覆鋼管（ポリエチレン保温材（難燃性））（JCDA 0009） 8) ドレン ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741）（50A以下） ・ 空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管 9) 60S u以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準による継手とする。75S u以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。	1) 給水用高密度ポリエチレン管、空調配管用高性能ポリエチレン管を使用する場合の配管支持間隔は標準仕様書及びメーカー施工標準のうち短い方を適用する。 2) 架橋ポリエチレン管及びポリブテン管の支持間隔は標準仕様書によるほか、メーカーの示す施工方法に準じ分岐部及び曲がり部においても適切に固定する。						
設計者			法適合確認欄		工事名称		設計年月	図面名称	縮尺	図面番号	
一級建築士			設備設計一級建築士		病院事業 雲南市立病院ハイケアユニット施設整備工事		2025. 11	特記仕様書（2）	A1： --- A3： ---	M — 02	
第304913号											
東本 貴弘											
加藤 朱莉											
有限会社 ナック建築事務所											
島根県知事登録第（8）1817号											